

R6 救護活動内容

<救護・同乗者用資料>

責任者：神長幸博／都竹高広／杉浦亮／島本貴子／平川ルミ／山本美杉

本部救護要員 平川ルミ・佐々木叔子・黒岩千咲

2024/7/7分科会後の修正部分

	Aグループ	Aグループ	Aグループ	Bグループ	Bグループ	Bグループ
救護車	芳川 恵一(酒井根)	杉浦 亮(風早)	室塚 剛樹(豊四季)	宇佐見 治雄(柏二)	嶋田 雅彦(風早)	賛助会さん
同乗者	島本 貴子(酒井根)	厚地 美穂(協力者)	山口 恵美(柏の葉)	小林 香菜子(西原)	関川 都代(中原)	賛助会さん

項目	救護車・同乗者	
24日朝8時	杉浦さん、室塚さんにてレンタカー1台を借用後、大堀川にて看板を積み込み設置	
レンタカー借用(運転者)	柏中集合時刻の30分前位にニッポンレンタカーにてそれぞれレンタカーを借用 柏市明原2丁目1-2	
柏中集合(運転者&同乗者)	Aグループ	Bグループ
	18:30	19:30
準備(運転者)	・車内に銀色シートを敷き、道路使用許可書と、AED(数台)、救護服2人分、必要物品(別紙:物品確認表)を積み込む。※物品の確認はふたり以上で(都竹、山本が支援)、<u>マグネットは車体の前部と左右側面に貼り付け</u> ・運転者のスマホへGoogleMapの設定(都竹が支援)、賛助会さんは設定済みスマホを受け取り(ゴール後に返却) ・準備完了後、運転者&同乗者でレンタカーで柏駅東口へ	
柏駅スタート会場で受付	Aグループ	Bグループ
	19:30	20:30
	NPC24H柏駅東口パーキング(柏4-5)かパーキング藤井(柏6-1)に車を止め、スタート会場で受付をする。運転者は受付の際、免許証を提示する。	
スタート	Aグループ	Bグループ
	20:15	21:30
	隊列出発後、パーキングへ移動し出発、グループの隊列の後に伴走 ※駐車料金はゴール後、柏中にて領収書と引き換え。	
休憩所	・駐車スペースに車を置き、<u>同乗者は到着受付にて救護車到着を伝える。</u> ・2人分の飲み物を受け取り休憩。 ・休憩所内で体調不良者が出た際も、<u>歩行時と同様の連絡体制</u>で救護本部(神長)から救護指示が来るので対応する ・休憩所から参加者全員が出発したのを確認し、<u>出発受付で救護車出発を報告する。</u> ★万が一休憩中に他の場所への救護要請が発生し、休憩所を出発する際も<u>出発受付に必ず報告してから出発。</u>	
ゴール 柏中到着	閉会式終了後、物品の片付けと駐車料金の清算を済ませレンタカーを返却し、解散。 ※杉浦さん室塚さんは、看板の取り外しと大堀川への搬入後に解散。	



救護発生～搬送(歩行中も休憩所内も同じ)

◇救護発生～救護車への乗車

- ①【電話】付添の同行者が救護本部へ電話、場所を伝える
- ②【電話】救護本部から救護者の同乗者へ出動指示、場所を連絡
- ③ 救護対象者と付添の同行者を車に乗せ、すぐに付添の同行者は隊列先頭へ戻す
- ④【LINE】同乗者が本部へ報告

AA号、XX中のYY君をピックアップ完了。付添のZZさんは隊列に戻しました

◇乗車後

・意識がない、重篤な症状(「熱中症 対応 マニュアル」参照) → 即、救急車！！

・トイレの場合 → 現場対応ですぐに戻す

- ① すぐに近隣のコンビニへ移動
- ②【電話】同乗者が該当学区の同行責任者へ電話、すぐ歩行隊列へ戻すことを連絡
- ③ トイレ完了後、隊列の前方へ移動し待機
- ④ 隊列の該当学区の先頭(学区旗を保持)が到着したら、救護対象者を隊列へ戻す
- ⑤ 隊列の該当学区の同行責任者(学区末尾)へ戻したことを口頭で伝える
- ⑥【LINE】同乗者が本部へ完了を報告

AA号、XX中YYさんをトイレ後、隊列に戻しました

・その他の症状(体調不良・足の痛みなど) → 原則として救護本部へ搬送

- ①【電話】同乗者は救護本部(神長)へ連絡し、指示を受ける
- ② 救護車が搬送場所へ移動(到着後)
- ③ 救護対象者を救護本部メンバーへ引渡す。
 - ・本部から戻しの生徒がいる場合 → 下記「救護本部からの戻し」へ
 - ・いない場合 → 救護車は隊列の伴走 or 待機場所へ(救護本部(神長)から指示)
- ②【LINE】移動後、同乗者が本部へ報告

AA号、待機場所に到着しました



救護本部からの戻し

- ① 救護本部で救護対象者を救護本部メンバーから引受ける。
戻し場所は救護本部(神長)からの指示を受ける
- ② 救護車が戻し場所へ移動。同乗者は学区責任者へ戻しを電話連絡する

<隊列へ戻す場合> ※基本はこちら

- ① 救護車が戻し場所へ到着、待機
- ② 隊列の該当学区の先頭(学区旗を保持)が到着したら、救護対象者を隊列へ戻す
- ③ 隊列の該当学区の同行責任者(学区末尾)へ戻したことを口頭で伝える
- ④【LINE】同乗者が本部へ完了を連絡し、次の待機場所の指示を受ける
到着したら同乗者が本部へ報告

AA号、XX中YYさんを隊列に戻しました。
待機場所を指示ください

AA号、待機場所に到着しました

<休憩所へ戻す場合>

- ① 同乗者が学区責任者へ電話連絡する
- ② 救護対象者を休憩所の「到着受付」担当者へ引き渡す
- ③【LINE】同乗者が本部へ完了を連絡し、次の待機場所の指示を受ける
到着したら同乗者が本部へ報告

AA号、XX中YYさんを休憩所に戻しました。
待機場所を指示ください

AA号、待機場所に到着しました



処置等

- ◇救護用品は必ず同乗者が管理しておく
- ◇熱中症が疑われる場合は別紙マニュアルを参考に処置をする。

※今年は救護車にクーラーバッグは載せない。



撤収

- ◇閉会式終了後レンタカーを返却

救護要請窓口①	山本美杉	080-6316-4364 (レンタル救護用)
救護要請窓口②	都竹高広	090-8228-9498 (レンタル本部用)
救護統括	神長携帯	080-1166-8446
本部救護	平川ルミ	090-9035-1098
会長	中川早苗	080-5058-1968
夏つど部長	梅林明日香	090-5752-9675

物品確認表

＜救護車に乗せるもの＞

- ☐ 車体マグネットシート×3(前部・両脇用)
- ☐ 誘導棒 ×2
- ☐ 反射ベスト×2
- ☐ 腕章×2
- ☐ AED(乗せる車だけ)

バインダーセット

- ☐ 救護リスト
- ☐ 全学区の同行責任者連絡先一覧(追加)
- ☐ 緊急連絡先
- ☐ 熱中症マニュアル
- ☐ 道路使用許可書
- ☐ 筆記用具

救急セット

- | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| ☐ 冷シップ | ☐ 滅菌ガーゼ | ☐ テーピング |
| ☐ はさみ | ☐ サージカルテープ | ☐ タオル |
| ☐ 体温計 | ☐ 清浄綿 | ☐ エチケット袋 |
| ☐ 傷消毒液 | ☐ ジップロック | ☐ ヒヤロン |
| ☐ カットばん | ☐ ティッシュ | ☐ ビニール袋 |

熱中症セット

- ☐ うちわ
- ☐ **OS1(常温1本。使用したら救護本部で補充)**

熱中症 対応 マニュアル



熱中症のサイン

軽...めまい・たちくらみ・汗がとまらない

中...頭痛・吐き気・身体がだるい・虚脱感

重...意識がない・けいれん・体温が高い・まっすぐに歩けない



熱中症が疑われる場合(20分以内の手当てが必要)

声をかけて意識がある→本部に連絡

意識がない→迷わず救急車 119



本部救護所搬送・救急車の到着までにすること

車内のクーラーを十分に効かせる

横に寝かせ、足を少し高くする

衣服をゆるめる

うちわなどであおぐ

ヒヤロンで頸部(太ももの内側)・脇の下を冷やす

冷たい飲み物を与える

※「よびかけに対する反応がおかしい」「応えない」
「吐き気を訴える」「吐く」時には水分摂取は禁物！塩分をとらせる



手当てのために準備しておくもの

ヒヤロン・うちわ・OS1